

森トラストグループ 2026年度入社式 社長あいさつ

森トラストグループは、4月1日(水)11:00より、本社である東京ワールドゲートにて「2026年度入社式」を開催しました。

入社式には、森トラスト株式会社の新入社員 18名、グループ会社である森トラスト・ビルマネジメント株式会社の新入社員 3名、森トラスト・ホテルズ&リゾート株式会社の新入社員 78名、株式会社浅野屋の新入社員 2名が参加いたしました。

森トラストグループを代表した、伊達の入社式あいさつ(全文)は以下の通りです。

森トラスト株式会社 代表取締役社長 伊達美和子 入社式あいさつ(全文)

皆さん、ご入社おめでとうございます。

森トラストグループの一員として、新たな一步を踏み出される皆さんを、心より歓迎いたします。本日、こうして新しい仲間を迎え、希望に満ちた入社式を迎えられることを、大変嬉しく思います。

森トラストグループは、中長期ビジョン「Advance2030」のもと、2030年までに1兆2,000億円の投資と、賃貸オフィス・ホテル・不動産販売の各事業において、2030年度に売上高1,000億円の実現を目指しています。

昨年竣工した「東京ワールドゲート赤坂」は、2026年に本格稼働を迎え、日本初進出となる「1 Hotel Tokyo」を3月に開業するとともに、森トラストグループとして初の試みであるブランデッド・サービスレジデンス「1 Homes Tokyo」もスタートしました。オフィス事業を取り巻く環境においては、従業員の出勤回帰を促すための環境改善や、人手不足を背景とした人材獲得競争の強化、堅調な企業業績に伴う人員増加や事業拡大などを背景に、都心部において高い稼働率が続いており、今後は賃料のさらなる上昇が見込まれています。ホテル事業を取り巻く環境は、訪日外国人観光客数および訪日外国人消費額が、昨年、過去最高を更新しました。また、分譲事業においては、都心部を中心に利便性や住環境に優れたエリアの良質な住宅に対する需要は引き続き強い状況です。こうした状況の中、森トラストグループの2026年3月期の決算では、営業収益全体で過去最高となる見込みです。特に、ホテル事業においては、4期連続で過去最高の売上高を達成する見込みです。これらの成果は、時代の変化を的確に捉え、積極的な投資を行い、各部署、各グループ会社が一丸となって取り組んできたからこそ成し遂げられたことです。

事業は、大変好調ではある一方で、世界経済を見渡せば、先行きの不透明感は依然として強い状況にあります。米国の通商政策の動向や、中国からの渡航自粛、為替の変動に加え、中東情勢をはじめとする地政学的リスクなど、事業環境に影響を及ぼす要因は少なくありません。不動産開発においても、建築費高騰や金利上昇、人手不足、エネルギーコストの上昇といった構造的課題が顕在化し、今後の投資判断に大きな影響を与えています。

このような外部環境の中、企業価値を継続的に向上させることが企業の使命であり、そのためには、新たな付加価値の創出や創意工夫が、これまで以上に求められています。既存資産を活用した

商品力の向上やブランディング、AI の活用による人材不足への対応など、その取り組みは多岐にわたります。また、企業の業績面だけでなく、健康経営の推進による働きやすい環境づくりや、環境配慮への取り組みなど、企業のあり方がますます問われる時代となっています。

森トラストグループでは、歴史的建造物を改修・改築しホテルとして再生するプロジェクトの実行や、オフィスで働く方々、ホテルに滞在されるお客様に「安全で安心」な環境の提供に努めています。さらに、再生可能エネルギーの導入や、CO2 およびエネルギー消費量の削減、プラスチックを含む廃棄物の削減に取り組んでおり、ホテルにおいては年間 19.9 トンの特定プラスチック削減を実現しました。こうした取り組みの結果、運営ホテルの 7 割以上で「サクラクオリティグリーン」を獲得しています。

このように、私たちを取り巻く環境は変化しており、決して平坦ではありませんが、常にどのようなことができるかを考え実行していくことが、求められています。皆さんにも、社会課題に向き合い、自ら考え、解決策を形にできる人材へと成長していくことを期待しています。

昨年、創業以来初となる企業 CM を通じて、新ブランドメッセージ「可能性デベロッパー」を発信しました。まさにこの時代に求められているのが、「可能性」を信じ、次世代に向けた環境をデベロップしていくことではないでしょうか？新入社員である皆さん一人ひとりの成長が、森トラストグループの未来を形づくる原動力となります。ぜひ「創意工夫」を心に留め、失敗を恐れず、新たな「可能性」に挑戦し続けて欲しいと思います。

今年は、森トラストグループのホテル事業 50 周年を迎える記念すべき年です。これまで多くの先輩方が築いてきた歴史に敬意を払いながら、皆さんなりの新たな発想を活かし、森トラストグループの歴史をさらに築いていってください。

皆さんと働ける日々を楽しみにしています。新たな挑戦に向けて、共に歩んでいきましょう。

改めて、本日は皆さん、本当におめでとうございます。

森トラスト株式会社について <https://www.mori-trust.co.jp/>

森トラスト株式会社(本社:東京都港区代表取締役社長:伊達美和子)は、日本の都心部における大型複合開発や、全国のホテル&リゾート事業を手掛ける総合不動産デベロッパーです。「不動産事業」「ホテル&リゾート事業」「投資事業(国内・海外)」の 3 事業を主軸に、国内外 52 棟のビル・住宅・商業施設(2025 年 3 月時点)と、37 ヶ所のホテル・リゾート施設(2026 年 3 月時点)を展開しています。

当社は、都市開発や観光資源となる歴史的建造物を保存・活用したホテル開発などを通じて、日本の国際競争力を高める事業を推進してまいります。

森トラスト・ビルマネジメント株式会社について <https://www.mt-bm.co.jp/>

森トラスト・ビルマネジメント株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長:桑田 一信)は、森トラストグループが保有するオフィスや店舗、住宅、ホテル&リゾート施設など、幅広い用途における管理運営およびテナント内装設計・施工に携わってきた、ビルマネジメントの専門会社です。「企画・コンサルティング事業」「施設管理・運営事業」「インテリア・リノベーション事業」3 つの事業で、資産価値の最大化を実現するための総合的なビルサービスを提供しています。

森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社について <https://www.mt-hr.com/>

森トラスト・ホテルズ&リゾーツ(本社:東京都品川区 代表取締役社長:伊達 美和子)は森トラストグループのホテル&リゾート事業を担う中核企業として、1973年に日本初の法人会員制倶楽部「ラフォーレ倶楽部」を創業。現在、「翠 SUI ホテル」、「マリオットホテル」や「コートヤード・バイ・マリオット」、「ラフォーレホテルズ&リゾーツ」など、24の自社・国際ブランドのホテル&リゾート施設運営を手掛けています。また、本格グリル料理を提供するレストラン「LAVAROCK」をはじめとするレストラン・カフェ運営事業のほか、貸会議室運営事業、観光インフォメーションセンター運営事業など、広範囲にわたるサービス事業を行っています。

株式会社浅野屋について <https://b-asanoya.com/>

浅野屋(本社:東京都板橋区 代表取締役社長:佐々木 一郎)は1933年に東京・麹町で外国の食料品を扱う「浅野屋商店」を開業して以来、常連客である外国人たちのために、四谷や軽井沢などにパン小売店「ブランジェ浅野屋」を出店。現在では軽井沢に3店舗、東京を中心に関東で16店舗を展開する老舗ベーカリーとしてその地位を確立しています。

2025年1月に森トラストグループ企業となりました。